



株式会社マツハ総合計画

2020 年度 環境経営レポート

(対象期間： 2020 年4月1日～ 2021 年3月31日)



作成日： 2021年6月15日

目 次

項 目	ページ
・ 目次	1
・ あいさつ ・ 環境経営方針	2
・ 組織の概要認証・登録の対象組織・活動 ・ 認証・登録の対象組織・活動	3
・ 環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
・ 許可の内容	5
・ 廃棄物処理フロー	6
・ 主な環境負荷の実績環境経営目標及びその実績 ・ 環境経営目標及びその実績	7
・ 環境経営計画の取組結果とその評価 ①	8
・ 環境経営計画の取組結果とその評価 ②	9
・ 環境経営計画の取組結果とその評価 ②	10
・ 環境経営計画の取組結果とその評価 ③	11
・ 環境経営計画の取組結果とその評価 ④ ・ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟の有無	12
・ 緊急事態対応訓練	13
・ 代表者による全体の評価と見直し・指示等の有無	14



私共、平成2年に廃棄物処理を業として設立、岩手、青森県境に位置する二戸市を拠点に事業展開しております。

ますます深刻になる地球温暖化と増え続ける廃棄物への対策、そして健康を蝕む有害物質の浄化が求められる現代において、私たちはどのようにして町や暮らし、日本、そして地球を守っていくのか。私たちは廃棄物収集運搬業を通じて、環境問題に少しでも貢献したいと考えております。

環境経営方針

<環境経営理念>

株式会社マッハ総合計画は、「正直な仕事」、「品質向上」、「コンプライアンスの厳守」を基本理念として、美しい地球を子供や孫に引き継ぐために、環境経営システムを構築し継続的改善を図ることにより地域環境、地球環境全体に貢献することを目指します。

<環境保全への行動指針>

当社の事業活動による環境負荷は、廃棄物収集運搬車両による二酸化炭素の排出量が最大のものです。

- 1． 収集運搬車両のエコドライブを実践し、省エネと排気ガスの抑制に取り組みます。
- 2． 節電、節水、廃棄物の抑制、リサイクルの推進に取り組みます。
- 3． 全社員が環境問題に関心を持ち、自発的に活動できるように、環境問題に関する知識の普及、啓蒙、意識の高揚を図り、人材を含めた生産性向上に努めます。
- 4． 当社の事業活動に関わる環境活動法規、その他の要求事項を厳守します。
- 5． この環境経営方針は、全社員に周知徹底するとともに、社外にも公表します。
- 6． 地域社会と良好なコミュニケーションを取り、地域の環境整備、美化運動に参加します。

制定日：2006年5月15日

改定日：2021年2月10日

代表取締役社長 **兵沢 登志夫**

- (1) 名称及び代表者名
 株式会社 マッハ総合計画
 代表取締役社長 兵沢 登志夫
- (2) 所在地
 本 社 岩手県二戸市福岡字長塚11番地1
 石切事業所 岩手県二戸市石切所字下ノ平64番地1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 環境管理責任者 田頭 茂美
 TEL：0195-25-5252 FAX：0195-25-5262 E-mail：moko103@cpost.plala.or.jp

- (4) 事業内容
 一般廃棄物収集運搬業
 産業廃棄物の収集運搬業（積み替え・保管有）
 特別管理産業廃棄物収集運搬業

- (5) 事業の規模
 法人設立 1990年8月23日
 資本金 1,000 万円
 売上高 16,100 万円

	本社	石切事業所
従業員	15名(パート1名)	3名
延べ床面積	2,300㎡	1,795㎡

受託した廃棄物の処理量

収集運搬量	5,146.28 t		
中間処理量	0 t	うち再資源化量	0 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の産廃の処分量	0 t	うち再資源化量	0 t

車種	台数	備考
パッカー車	8 台	2t×2台、2.3t、2.5t、2.55t、2.65t、2.75t、3.35t
脱着式コンテナ車	7 台	3t×2台、3.8t、5.4t、7.7t、8t、12t
ダンプ・ホロ付きトラック	3 台	2t×3台
クレーン付トラック	3 台	2.55t、3.5t、5.2t
軽車両	1 台	
合計	22 台	

主要設備

名称	台数	備考
脱着式コンテナ車	20 基	8.2m ³
脱着式コンテナ車	10 基	3.6m ³
クリーンボックス	170 基	2.5m ³
クリーンボックス	230 基	2.0m ³

積み替え保管施設

名称	保管面積	保管上限	備考
積替え保管施設	223.3 m ²	169.68 m	二戸市福岡字長塚11番地1
	m ²	m	
	m ²	m	

□認証・登録の対象組織・活動

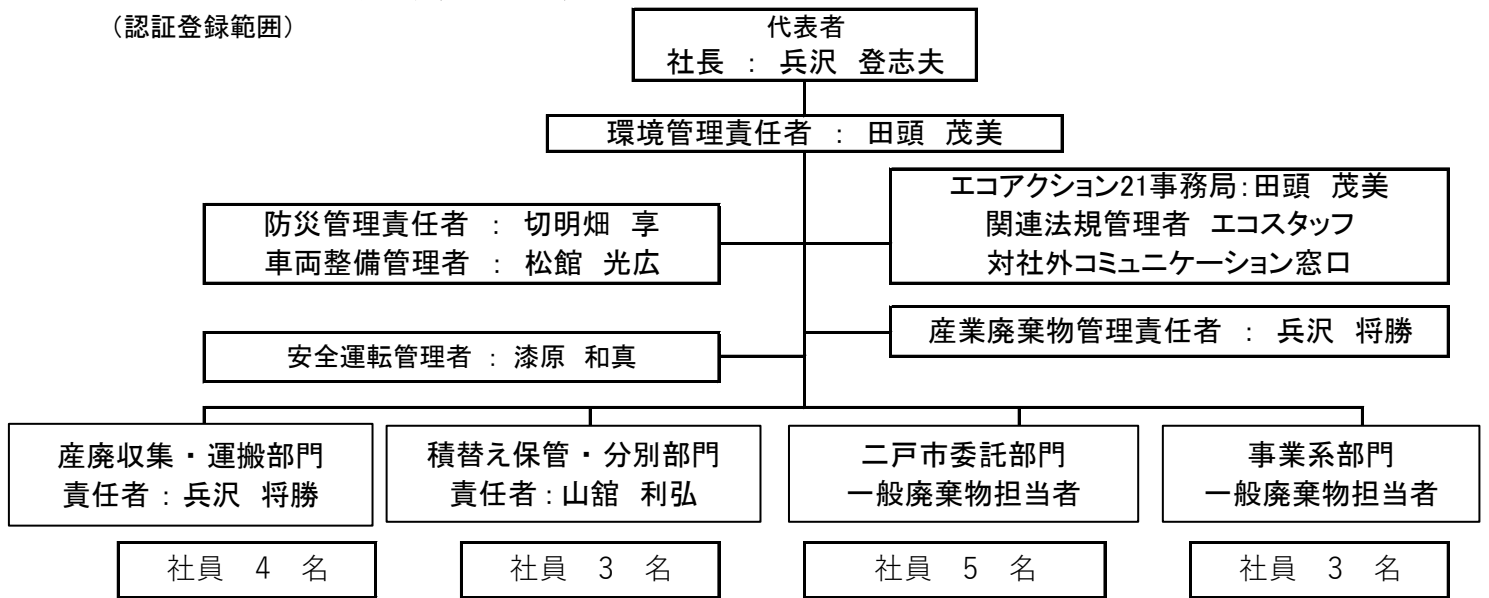
登録組織名： 株式会社 マッハ総合計画
 対象事業所： 本社 岩手県二戸市福岡字長塚11番地1
 石切事業所 岩手県二戸市石切所字下ノ平64番地1

活動： 一般廃棄物収集運搬業
 産業廃棄物の収集運搬業（積み替え・保管有）
 特別管理産業廃棄物収集運搬業

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2020年4月1日

(認証登録範囲)



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
エコアクション21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
防災管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成
車両整備管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・車両の整備 ・始業前点検の指導及び実施
産業廃棄物管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の適正処理 ・マニフェストの管理・保管
安全運転管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・交通規則・エコドライブの指導及び実施 ・収集運搬に関し車両の効率的な運用を行い環境負荷の低減を図る
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

口許可の内容

一般廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効 年月日	備考
二戸市	第8号	令和2年4月1日	令和4年3月31日	事業系一般廃棄物(し尿及び浄化槽汚泥を除く) 一般家庭から排出される粗大ごみ及び引っ越し等の一時多量ごみ
一戸町	第2-3号	令和2年4月1日	令和4年3月31日	事業所等から排出される一般廃棄物(し尿及び浄化槽汚泥を除く) 一般家庭から排出される粗大ごみ及び引っ越し等の一時多量ごみ
軽米町	第5号	令和2年4月1日	令和4年3月31日	事業所等から排出される一般廃棄物(し尿・浄化槽汚泥を除く)
九戸村	第6号	令和2年4月1日	令和4年3月31日	事業系一般廃棄物(し尿、汚泥を除く)
久慈市	① 事ご 29第6号 ② 特家 3第20号	令和3年4月1日	令和5年3月31日	① 事業系一般廃棄物(ごみ)に限る ② 特定家庭用機器再商品化法第2条第4項 の政令で定める一般廃棄物
三戸町	第207号	令和2年4月1日	令和4年3月31日	事業系一般廃棄物(し尿及び浄化槽汚泥を除く) 引っ越し等に伴い家庭から排出される臨時ごみ
南部町	第15号	令和2年4月1日	令和4年3月31日	一般廃棄物(可燃・不燃)

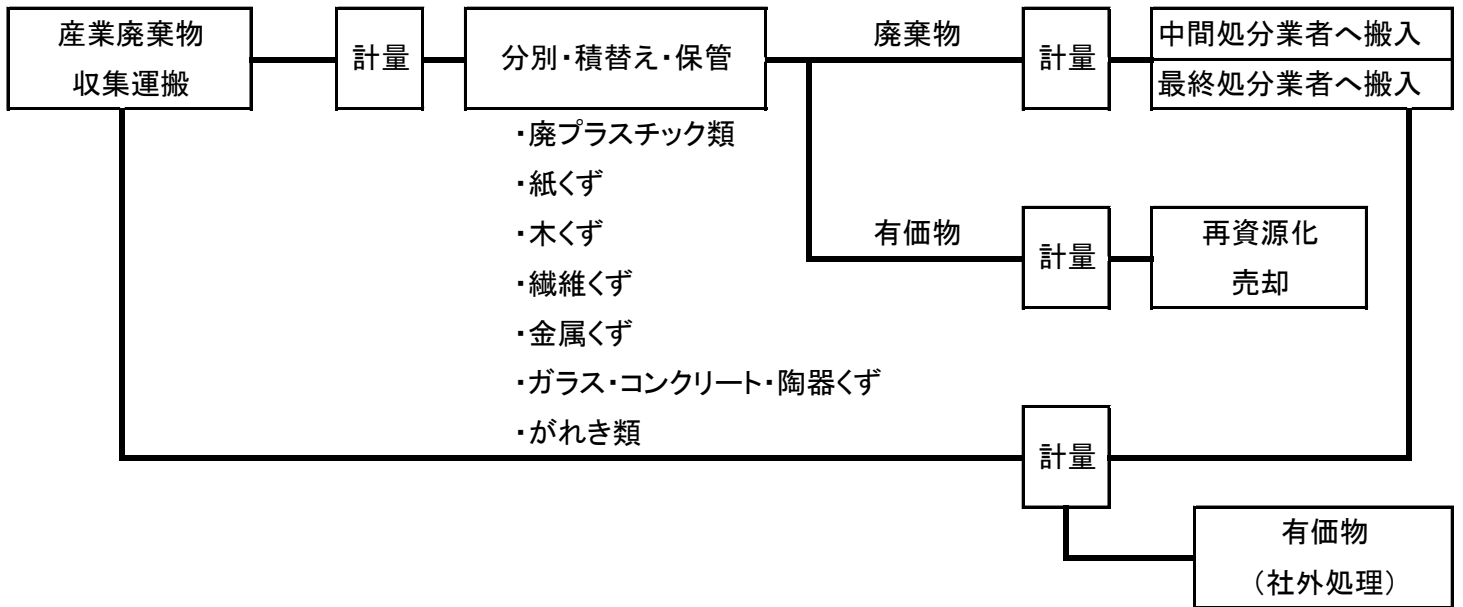
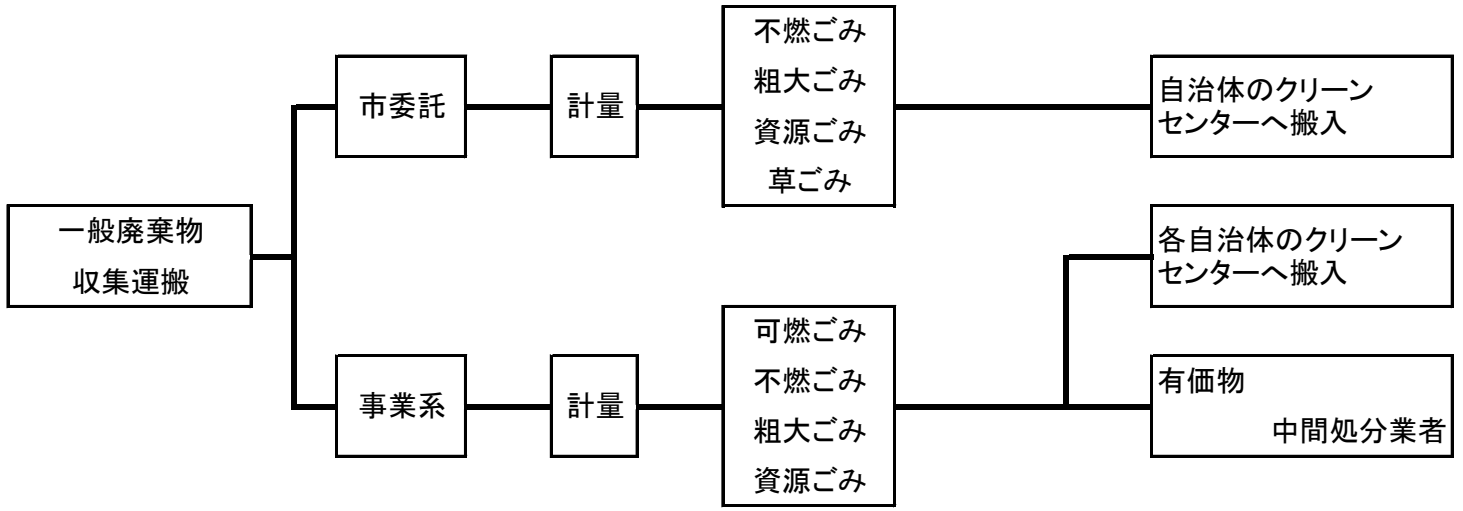
産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効 年月日	積 替 保 管	廃棄物の種類																	
					燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶器くず	鋳さい	がれき類	動物のふん尿	ばいじん
岩手県	00319052372	令和3年3月12日	令和10年3月11日	有	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○
青森県	00201052372	平成29年9月22日	令和3年11月6日	無	○	○	○			○	○	○	○			○	○		○		○	

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積 替 保 管	廃棄物の種類																
					廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性産業廃棄物	廃石綿等	ばいじん	燃え殻	汚泥	廃酸	廃アルカリ							
岩手県	00359052372	令和2年8月11日	令和9年8月10日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
青森県	00251052372	令和3年3月17日	令和8年3月16日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						

□ 廃棄物処理フロー



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年	2020年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	249,679.42	228,175.64
受託収集運搬量	トン	5,271.15	5,146.28
受託中間処理量	トン	0	0
受託最終処分量	トン	0	0
廃棄物排出量	トン	6.96	3.62
一般廃棄物排出量	トン	3.14	1.09
産業廃棄物排出量	トン	3.82	2.53
水使用量	m ³	0	0

※二酸化炭素排出係数 0.528 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

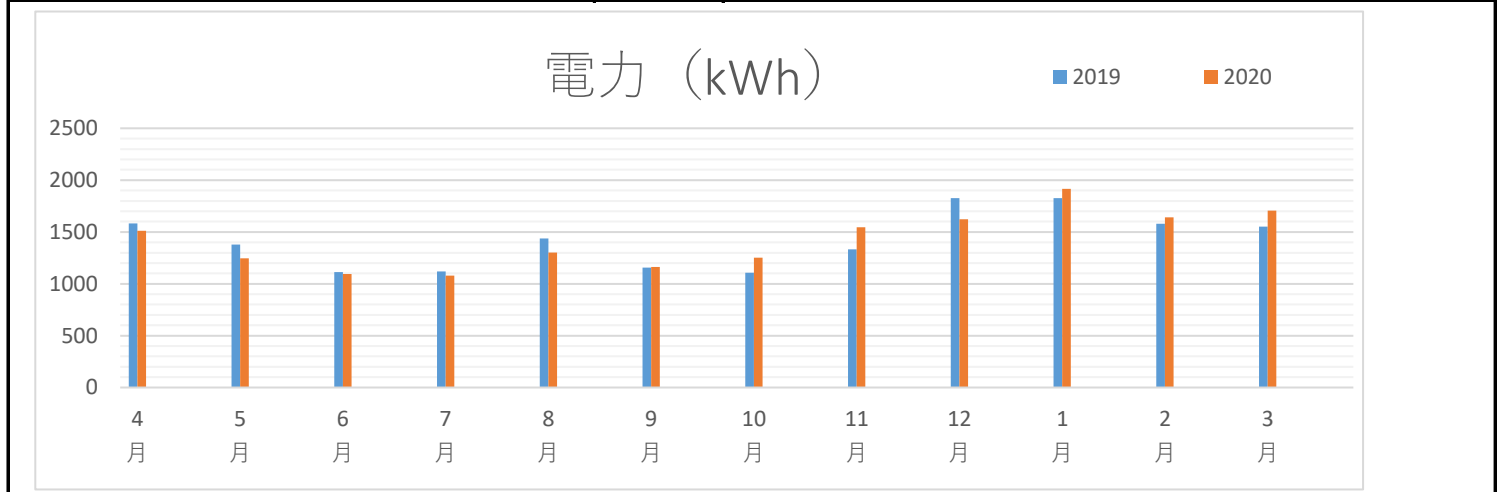
□環境経営目標及びその実績

項目		年度	基準値	2020年		評価	2021年	2022年
			(基準年)	上段: 通期 下段: 9月末まで (目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力使用量による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		8,869	8,781	9,016	×	8,692	8,603
			4,112	4,071	3,906	○		
	基準年度比	2019年	99%	102%			98%	97%
LPガスによる二酸化炭素排出量	kg-CO ₂		0	0	305.90	-	0	0
					153.28	-		
	基準年度比	2019年	0%				0%	0%
燃料使用量による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		240,811		218,854	-	0	0
			101,309		104,002	-		
	基準年度比	2019年			91%		0%	0%
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO ₂	249,680	8,781	228,176		8,692	8,603
1t当りのCO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /t		45.686	45.229	42.527	○	44.772	44.315
				45.229	42.107	○		
	基準年度比	2019年	99%	93%			98%	97%
燃費 (ディーゼル車)	km/L		5.26	5.31	5.33	○	5.36	5.41
				5.31	5.58	○		
	基準年度比	2019年	101%	101%			102%	103%
売上高当たりのCO ₂ 排出量	Kg-CO ₂ /百万円		1,560	1,545	1,417	○	1,529	1,514
	基準年度比	2019年	99%	91%			98%	97%
事務用紙使用量の削減	kg		1,200		720	-		
				維持継続				
	基準年度比	2019年			60%		維持継続	維持継続
受託廃棄物のリサイクルの徹底	%		9.1%		10.2%	-		
				維持継続				
	基準年度比	2019年			111%		維持継続	維持継続
水使用量の削減	m ³		0	0	0	-	0	0
	基準年度比	2019年	0%				0%	0%
グリーン購入の推進	品		19	20	20	○	21	22
			19	20	39	○		
	基準年度比	2019年	105%	105%			110%	115%
地域の環境整備・美化運動	回		6	6	6	○	6	6
	基準年度比	2019年	100%	100%			100%	100%

環境経営計画の取組結果とその評価 ①

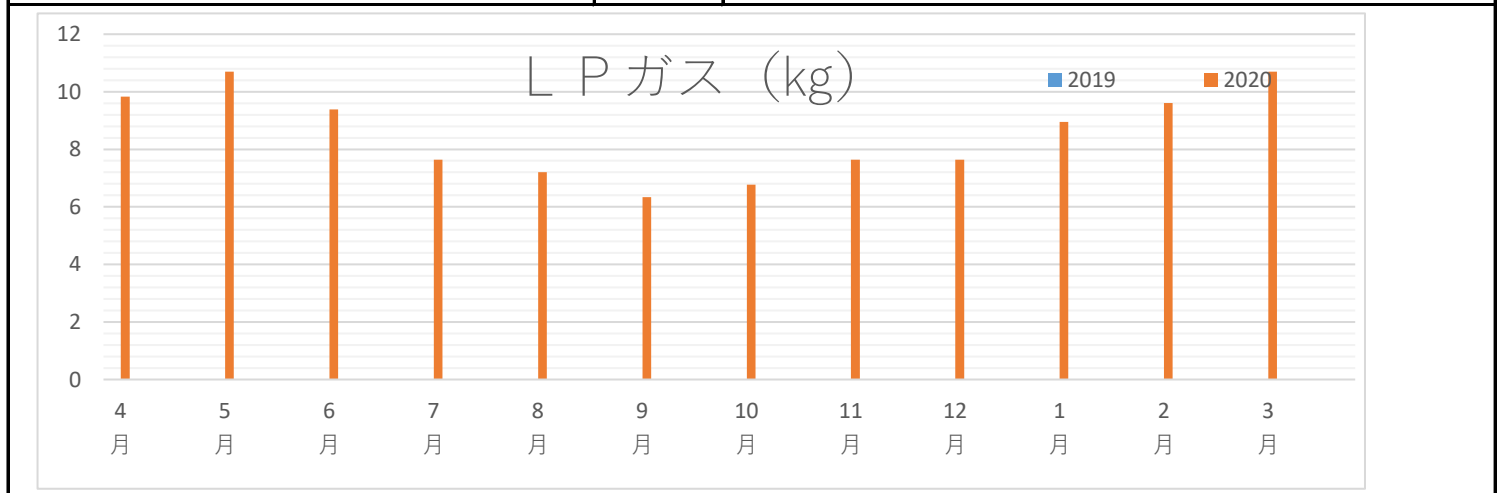
数値目標:○達成 ×未達成

電力使用量による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	下半期(冬期間)での使用量が増加している。 特に石切事業所では洗車機の使用が多くなり、融雪剤付着により洗車時間が増加した。 エアコン、洗車機の使用について注視していき、取組みについて今後も実績取りを行う。
・OA機器は待機電力にする	○	
・昼休みの消灯、誰もいないエリアの消灯	○	
・洗車機の効率的な使用	×	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	1,584	1,378	1,112	1,120	1,438	1,156	1,108	1,334	1,828	1,828	1,579	1,553	17,018
2020年	1,511	1,247	1,095	1,079	1,301	1,164	1,251	1,544	1,623	1,916	1,640	1,705	17,076

LPガスによる二酸化炭素排出量	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	—	今年度は実績取りを行い来期の基礎とする。

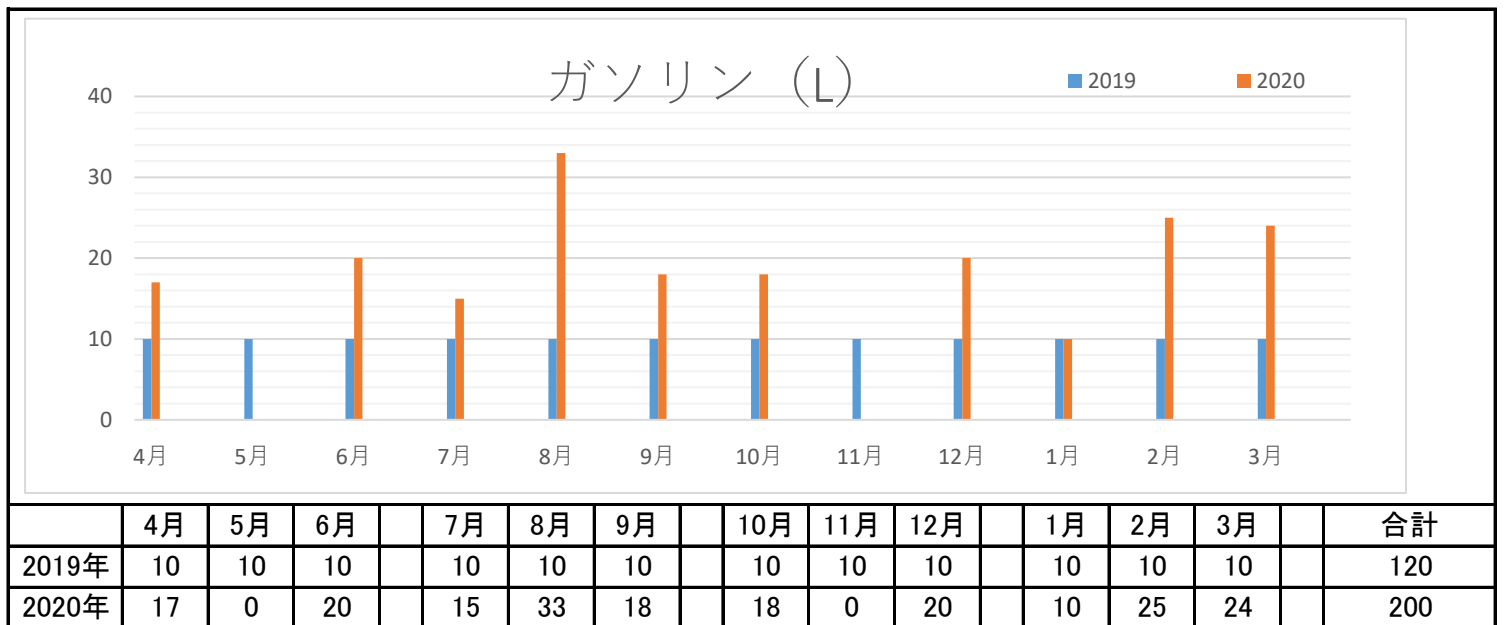
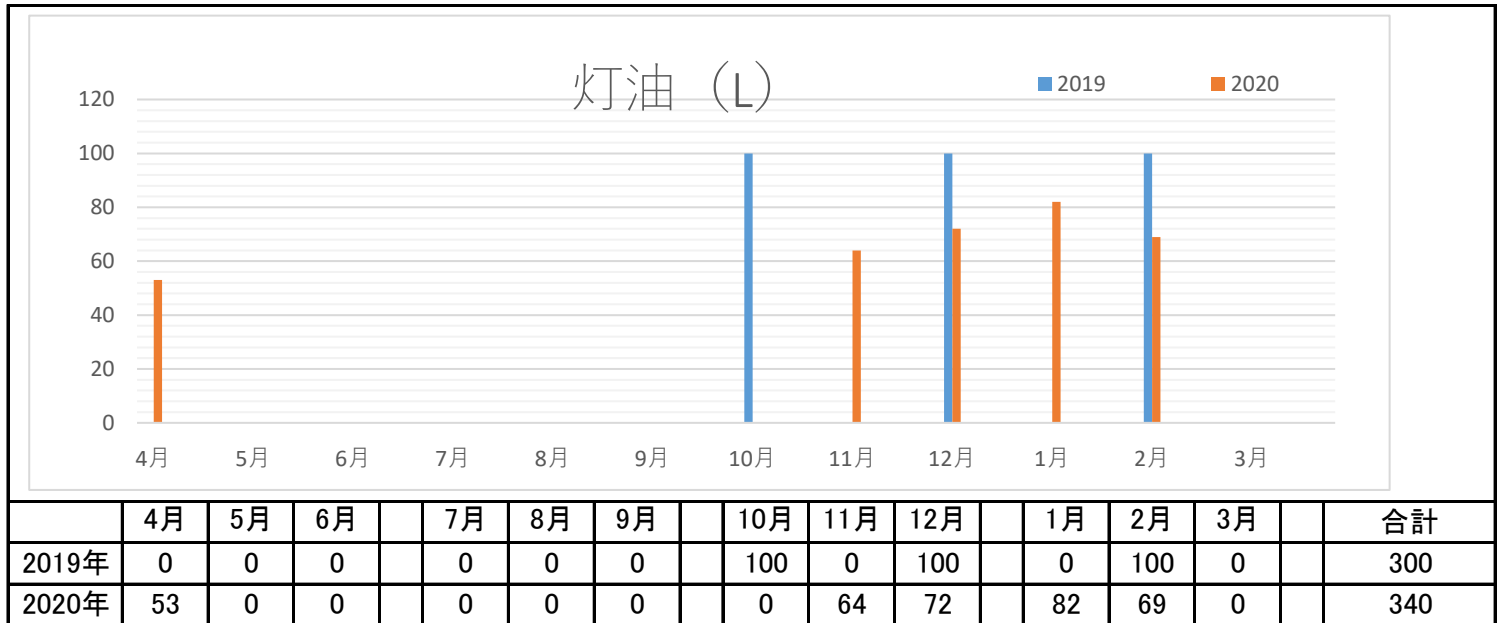


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2020年	9.83	10.70	9.39	7.64	7.21	6.33	6.77	7.64	7.64	8.95	9.61	10.70	102.40

口環境経営計画の取組結果とその評価 ②-1

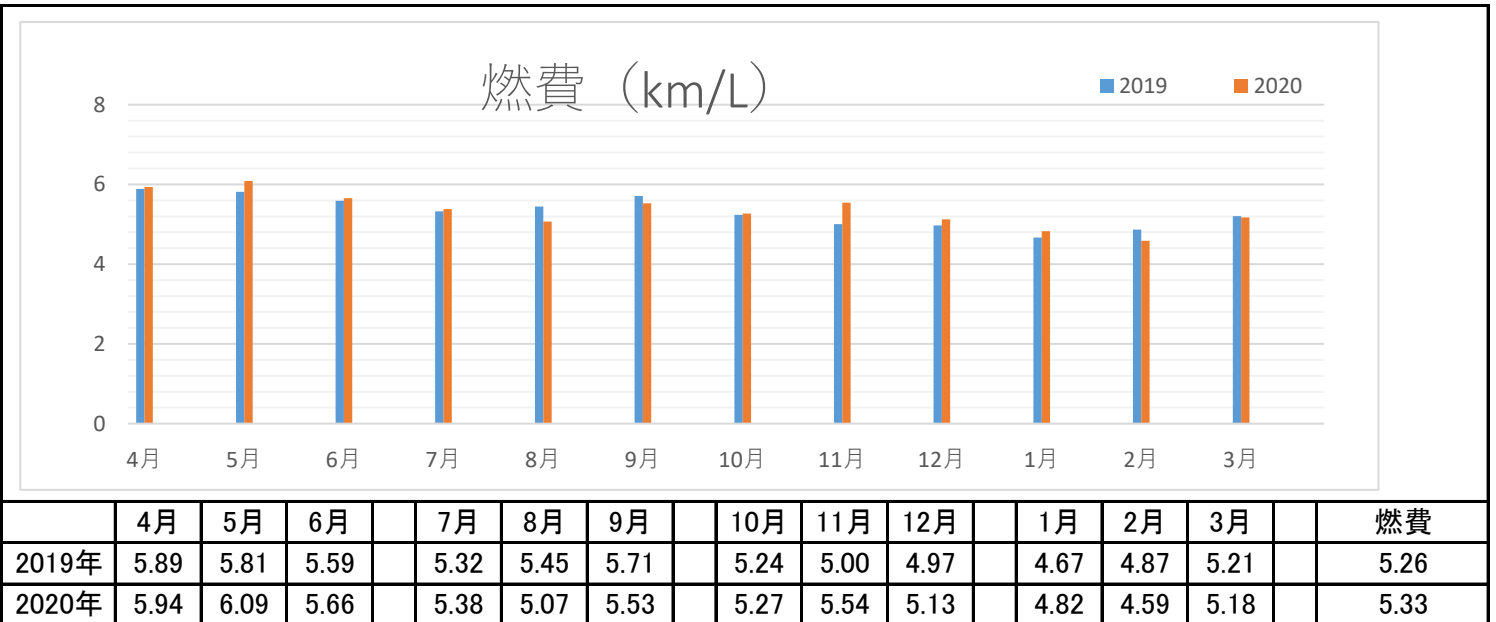
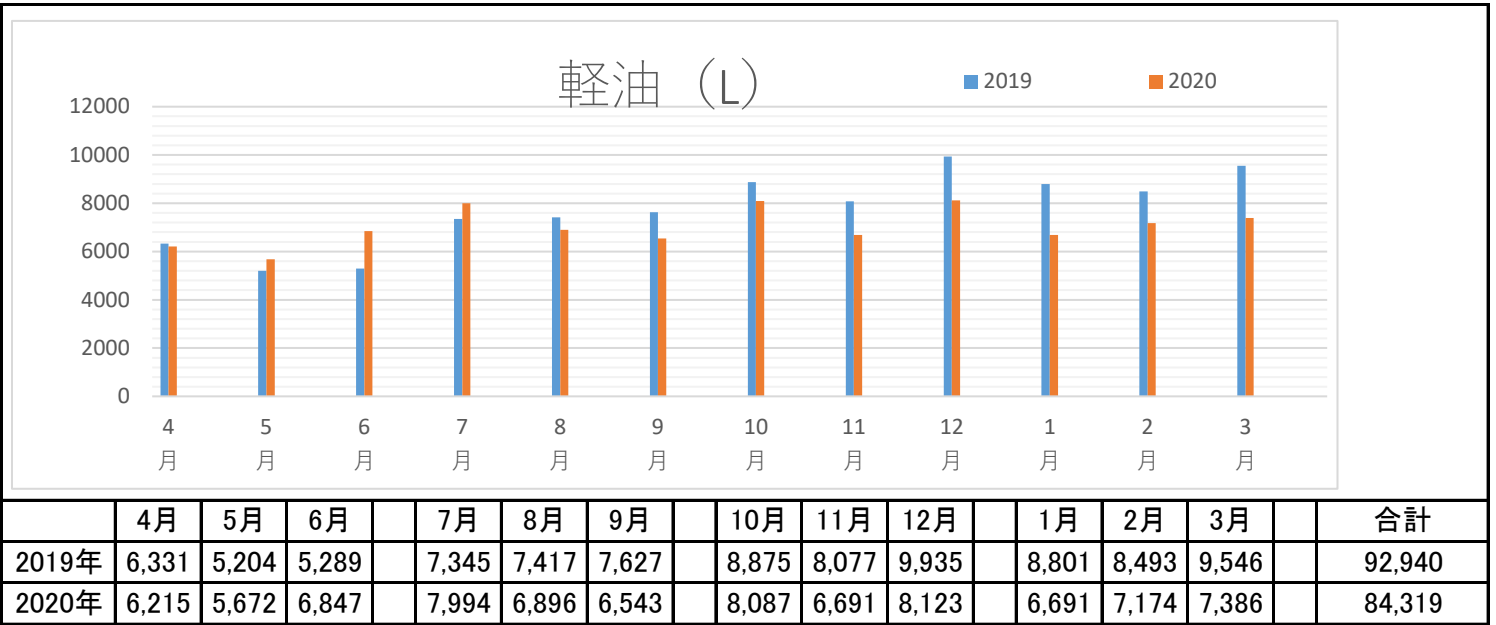
数値目標:○達成 ×未達成

燃料使用量による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	—	燃費は年間累計では計画通り取組は行われたと評価します。但し、下半期(冬期間)では月別の燃費が大幅に下がる月もあるので油断ができない状況であった。冬期間での暖機運転は油圧装置の慣らしやガラスの解氷など安全を確保したうえで、アイドリング時間の超過を減らす取り組みを試みる。
・エコドライブの促進	○	
・車両ごとの燃費の把握	○	
・効率の良い収集ルートの実行	○	
・冬期間での洗車機(ボイラー)の効率的な使用	△	



口環境経営計画の取組結果とその評価 ②-2

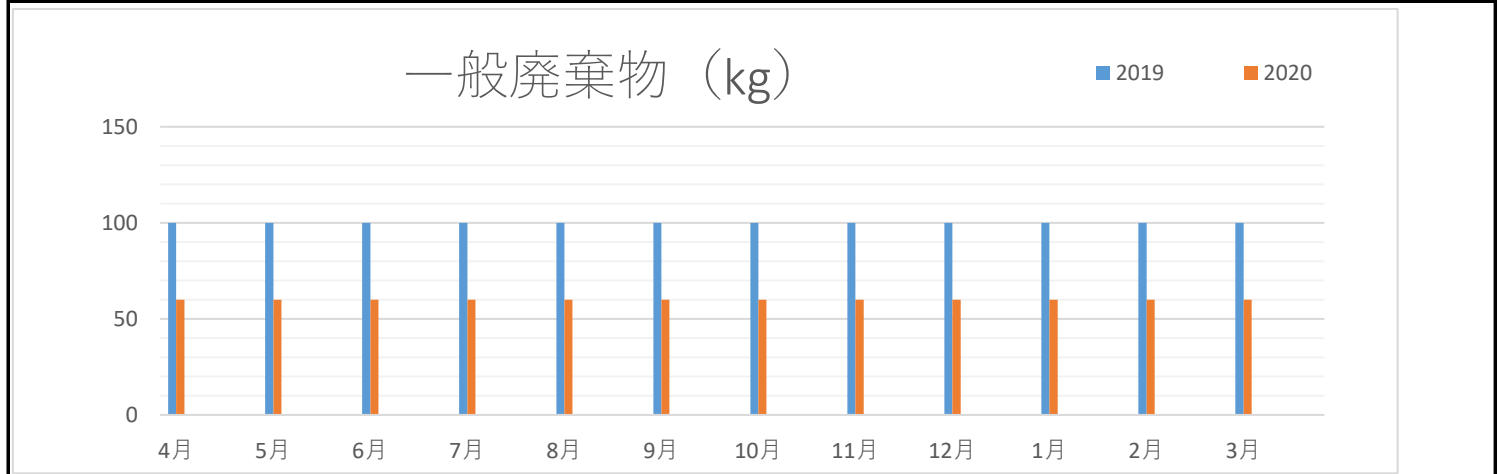
燃料使用量による二酸化炭素削減



口環境経営計画の取組結果とその評価 ③

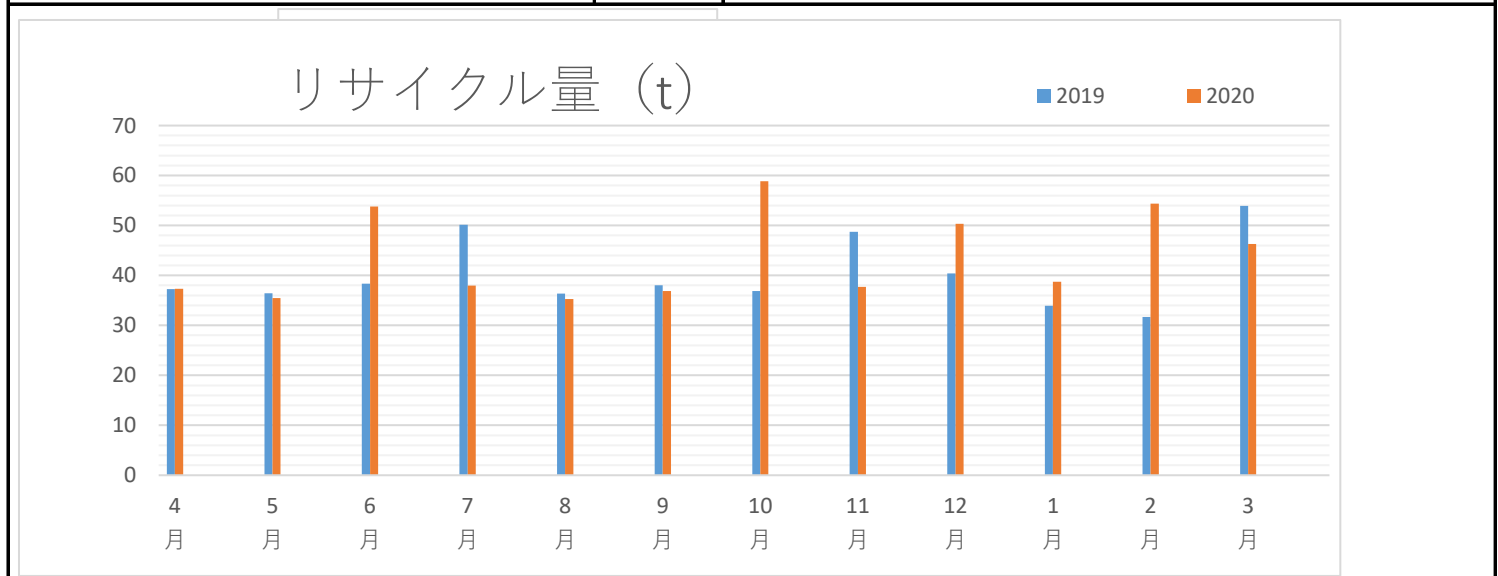
数値目標:○達成 ×未達成

事務用紙使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	—	使用済み用紙の回収裏面使用など各自定着している。
・使用済み用紙の回収	○	
・裏面コピー、メモ用紙として再使用	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1,200
2020年	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	720

受託廃棄物のリサイクルの徹底	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	—	廃棄物は積替えにより分別されており資源化されている。
・積替えによる分別の徹底	○	
・事業系資源ごみ収集運搬量の把握	○	

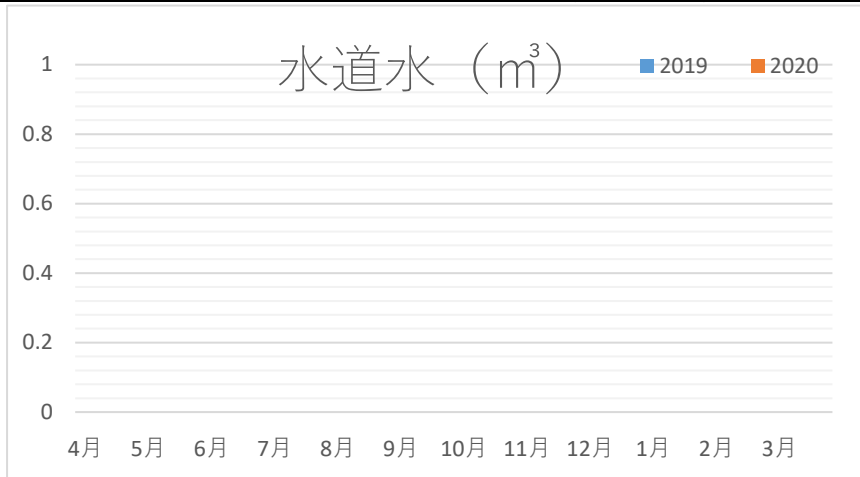


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	37.28	36.44	38.36	50.11	36.33	38.03	36.86	48.72	40.42	33.93	31.66	53.95	482.09
2020年	37.34	35.47	53.78	37.99	35.24	36.85	58.83	37.68	50.34	38.73	54.39	46.29	522.93

□環境経営計画の取組結果とその評価 ④

数値目標:○達成 ×未達成

水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	—	消費電力削減にもつながるので今後も洗車機の使用と共に節水が続けていくこと。
・洗車機の効率的な使用	×	



※流量計の設置がなく計測できていません。
(地下水利用の自家給水をしており水量は湯水に使用しているポンプの電気使用量として全体の電力に含まれます)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2020年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

グリーン購入の促進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	商品を検討し今後も環境ラベル表示製品を優先的に購入すること。
・環境ラベル表示製品の優先的購入	○	

地域の環境整備・美化運動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	取組みは計画的に行われました。 冬期に関しては除雪作業も行った。
・沿線道路の草刈り(5月～10月年6回)	○	
・クリーン作戦への参加(ごみ拾い)	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	(一廃・産廃・特管) 収集運搬業、(産廃) 積替え保管
家電リサイクル法	特定家電用機器(エアコン・テレビ・冷蔵庫・冷凍庫・洗濯機・衣類乾燥機)
顧客要求事項	

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

緊急事態対応訓練

緊急事態の想定: 火災の発生	
■実施日: 2020年9月16日	■実施場所: 本社
■参加者: 全社員	■実施内容: 避難訓練
■評価:	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし

防災管理体制を結成し各係の業務内容に基づき訓練を行った。
併せて消火器の保管場所、点検も行うことで良い結果となった。

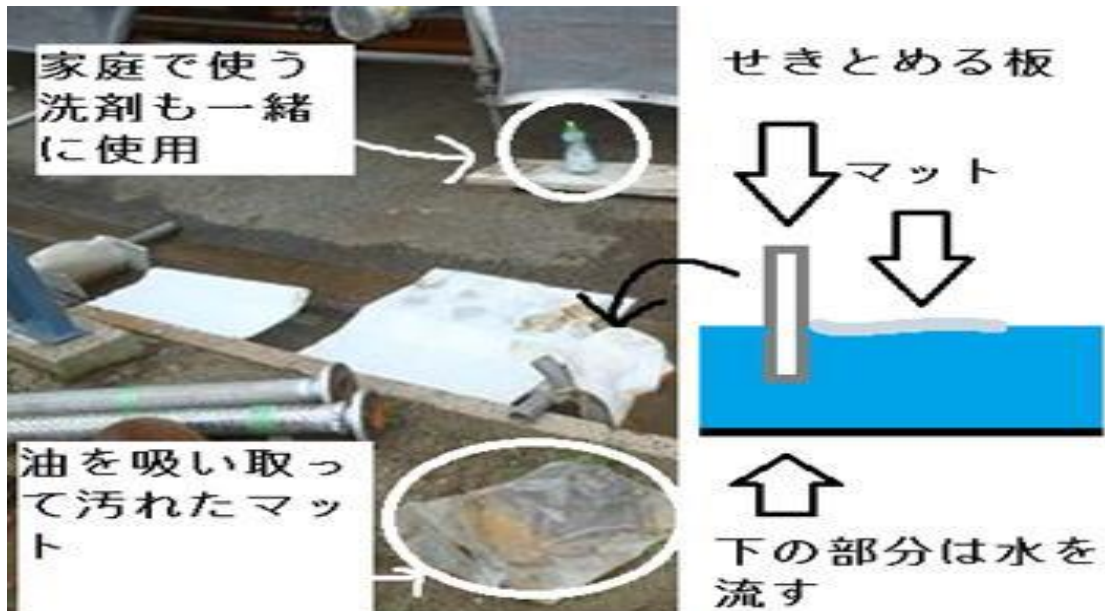
■実施状況の様子



緊急事態の想定: 油流出事故の発生	
■実施日: 2020年9月17日	■実施場所: 石切事業所
■参加者: 収集運搬作業員	■実施内容: 流出事故対応、通報訓練
■評価:	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし

吸着マットは油の性質を把握することで水面に浮いた油類だけを吸収することがわかった。

■実施状況の様子



新たに環境経営方針も決まり、今後もこの方針で継続する。

環境経営計画は、年間での取組でほぼ計画通りの結果が得られている。
電力に関してはCO₂排出量が増加となっているが、燃料のCO₂排出量は基準年度比を大きく下回っており結果的にCO₂総排出量は削減され、よって燃料費の節約にも繋がっている。
このことを踏まえ来期の環境経営目標の検討を要求する。

実施体制はこのまま継続する。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり